



永和駅周辺整備に関する勉強会の再開は

石崎 誠子議員

津島市・蟹江町と課題の共有に努める
産業建設部長



▲踏切手前で2つの道路が1つになり渋滞に

答 今後は、津島市、蟹江町が参加いただければ、

見解は。協議を加速してほしいが

を早急に再開し、愛西市が中心となって広域的な協力を加速してほしいが

「永和駅北側改札設置」は重要な選択肢だ。かつての答弁にあった津島市や蟹江町との「永和駅周辺整備に関する勉強会」

の双方が、10年20年と時間を要する見込であれば、渋滞緩和の具体的な一石として、駅利用者の安全確保と動線の分散を比較的短期に図ることができ

る。JR東海との協議・調整に加え、事業費の確保にも時間を要している。

本線区間は、河川の堤防改修に伴う橋梁の架け替えを含む複雑な工事となる。JR東海との協議・調整に加え、事業費の確保にも時間を要している。

現場を支援する「人的な支援体制」を、どう強化していくのか。

勉強会等により広域的な見地から共通した課題の共有に努める。

自主防災会への
人的な活動支援を

勉強会等により広域的な見地から共通した課題の共有に努める。